

うたしない 市議会だより

第49号

歌志内市議会
議会報編集委員会

発行年月日 平成30年2月1日



行政常任委員会で小学校を視察

平成29年 第4回定例会 12月開催

もくじ

- 議会の動き …… 1 P
- 一般質問 …… 2～4 P
- 行政常任委員会報告 …… 4 P
- 決算審査特別
委員会報告 …… 4 P

- ▽ 11月22日
空知教育センター組合議会第2回定例会
湯浅議員
- ▽ 11月24日
中・北空知廃棄物処理広域連合議会第2回定例会
川野議長
谷議員
- ▽ 11月27日
石狩川流域下水道組合議会第2回定例会
川野議長
本田議員
- ▽ 11月30日
砂川地区保健衛生組合議会第2回定例会
女鹿議員
- ▽ 11月30日
中空知広域市町村圏組合議会第2回定例会
川野議長
山崎議員

【一部事務組合等議会】

〔定例会の開催〕
12月12日から15日までの4日間定例会が開催されました。12日は、決算審査特別委員会に付託していた議案の審査結果報告1件、専決処分に係る報告2件、議案10件を審議しました。議案10件のうち、認定ことも園関連条例2件を行政常任委員会に付託し、8件の議案は原案どおり可決しました。13日は休会とし、行政常任委員会に付託した議案2件の審査を行いました。

一般質問は14日4名、15日2名が行い、その後、行政常任委員会に付託していた議案2件の審査結果について委員長より報告があり、いずれも全員一致で原案どおり可決し、閉会しました。

議会の動き



谷 秀紀

一 道徳教科化への

対応について

質1 道徳教科化について保護者との取組（周知）についての状況を伺いたい。

答 特別な教科道徳は小学校で平成30年度、中学校は平成31年度からとなります。

歌小では、既に校内で研修を実施、一月以降の学習時間に先行実施する予定ですので、保護者には新学習指導要領等を含め学校側から周知します。

質2 道徳が教科になると評価が気になり、本音が言えなくなる傾向になり、息苦しい世相になるのではという心配や、学歴社会が重視される昨今において、道徳が受験の内申点の対象となることを保護者は懸念されているのではと思います。本件については明確な答弁をいただきたい。

答 今後、評価を行うには絶対評価で行うものと考えます。ただし、5・4・3のような数値の評定ではなく文章において記述されます。記述においては児童生徒が優れている点や長所、進歩の状況など、



本田 加津子

一 歌志内市の

まちづくりについて

質 買い物弱者に対しての対応については、様々な調査や研究をされていると思います。

現在、市内には個人商店やコンビニエンスストアがありますので、必要最低限の食料品や飲料品、日用雑貨などは購入できますが、それ以外の生活必需品を購入することは、とても厳しい現状です。

そこで、現在検討されている買い物弱者に対する支援についてお伺いします。

また、商工会議所とはどのような協議をされているかお伺いします。

答 市内では、食料品や日用雑貨等を取り扱ってきた店舗が廃業するなど、市民の買物の利便性が低下してきております。

市では、この状況を重く受け止め、対策について商工会議所と協議しておりますが、現状、買い物弱者への具体的な支援策を講じるには至っておりません。
このような状況の中、商工



湯浅 礼子

一 高齢者が安心・安全に暮らせるまちづくりについて

質 当市では、ひとり暮らし高齢者等を対象に夕食を配食しており、配食日時等の更なる充実を図るとありますが、どのように内容を充実させていくのか、また今後の課題につきまして伺います。

答 食生活の改善と安否確認を主な目的として、社会福祉協議会に委託し実施しています。11月末現在、登録者数が28人です。配食は、月曜日から金曜日の夕食とし、だいた

い15時半から16時半くらいの時間帯に、利用者の顔を見て渡すことを基本としています。

配食回数や土曜、日曜、祝祭日などの実施、疾病を考慮した献立など、取り組むべき事項はいくつかありますが、市内にはそれらの諸課題に対応できる業者がなく、難しい状況となっております。

今後、社会福祉協議会と連携を図り、少しでも多様なニーズに対応できる配食サービスのあり方について検討します。

肯定評価に留意し、児童生徒の努力を要する点については、その後の指導において特に配慮するものであれば記述します。通知表については文章で記述し、また、入学者選抜の可否判定には活用しません。

質3 教科化の実施により今よりどのように授業の内容が変わり、特定の価値観を押し付ける指導を行うことがないのかということが心配されますので、どのような内容の指導を行う考えなのかお示し願いたい。

答 道徳科の授業を展開するにあたり学級の実態、児童の発達の段階、指導の内容や意図、教材の特性、他の活動との関連等に応じて柔軟な発想を持つことが大切です。

※他に以下2件の質問をいたしました。質問内容と答弁につきましては、紙面の許容上割愛しますのでご理解をいただきたいと思えます。

割愛しました質問2件は次の表題です。

二 児童生徒の表彰条例の制定について

三 町内会の再編について

一般質問

質 「地域包括ケアシステム」の構築が進められており、「病院完結型医療から在宅医療へ」「医療と介護の一体化」の方向性が示されており、本市が、本市の訪問看護、在宅医療の具体的な取り組みについて伺います。

答 当病院の訪問看護は、平成12年度より、在宅での生活をより快適に、豊かに安心して療養生活が送れるよう、医師との連携のもとに訪問看護サービスを提供しております。

看護師1名体制で市内の患者さん宅を訪問しており、血圧、脈拍、体温測定及び症状観察や療養指導・服薬の確認など、患者の状態変化に応じ、その都度医師へ報告し、指示を受けながら実施しています。患者数は、医療型が1名、介護型が17名の計18名です。

なお、本年11月までの訪問看護実績では、述べ患者数119人、延べ訪問件数404件です。

在宅医療は、週1回、医師が、楽生園、親愛の家、さらかば荘を訪問し、施設利用者の診察を行っています。



めぐ さとし

一 LGBTを含む性的

少数者の方たちへの理解と周知について

昨今、テレビや雑誌などでLGBTという言葉が多く目にするようになりました。

これは、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの頭文字をとった略語です。

日本での当事者数は正確には把握されておりませんが、電通総研の2017年調査では7.6%という数字が出ています。

本市においても実際の人数は明確ではありませんが、当事者はいるのではないかと思います。

札幌市においては、LGBT当事者が身近に存在することを告知する印刷物を準備し、各施設や民間の協力店舗に置くなど、周知を進めています。

質 本市においては、人権の保護や差別・いじめの解消を目指す啓発活動として、市職員や市民に対して周知などを行う計画があるかを伺います。

答 本市の状況は特に把握し

ていない。

また、対策についても特化した啓発活動は行っており、一般的な人権擁護対策の中で偏見や差別をなくし、理解を深めるものとして進めてきた。

法務省では全国的に、異性愛、同性愛、両性愛などの性的指向に対する差別的な取扱いは、不当なことであるという認識が広がっているもの、いまだ偏見や差別が起きている現状であると認識している。

本市では、性的指向に対する理解、浸透がまだまだ不十分で、一般的な意識として捉えられるまでに至っていないと考えている。

しかし、少数といえども人権に関わる問題として、認識を新たにし、対応する必要がある、本市においてもLGBTを含む性的少数者に対する人権保護や差別など本人達に不利益、逆効果にならないよう配慮した周知を研究し、情報発信に努めていく。

※ 他に『介護保険制度について』『市内買い物問題について』も質問しています。



下山 則義

一 基金の運用について

質 本市には、財政調整基金等の基金がありますが、リスクを考えながら上手に運用するお考えについて伺います。

答 基金を含めた現金の保管は、指定金融機関等への預金その他最も確実かつ有利な方法で保管することとされており、通常は、金融機関に預金しますが、例外的に有価証券による運用も認められています。

今後は支払準備金に支障がない範囲で安全性を最優先に他の方法も検討します。

二 人口減少対策について

質 本市の市営住宅の家賃は入居世帯の収入で決定します。そのため、育児を終え、子供の学費や生活の安定を図るために、夫婦が共働きをするなどで家賃が高くなり、民間賃貸住宅が少ない本市から転出する人がいると聞きます。人口減少対策のため、本市に安心して住み続けられる居住環境の対応について伺います。

答 収入増により他市町へ転出するといった相談を受けた

ことはありませんが、複合的な要因の一つと考えています。公営住宅は法律により低額所得者・住宅困窮者のための住宅と位置づけられており、本市で家賃が高くなった世帯の方が他市へ転出して、本市より高くなる傾向があります。

居住環境の重点施策として、除雪対策に力点を置き、快適な居住空間の提供を心掛けています。

三 小中一貫教育について

質 平成30年4月から始まる併設型小中一貫教育で、9年間を通じた教育課程をどのようにに編成し、小中一貫教育を行っていくのか伺います。

答 現在、小学校と中学校に小中一貫教育実施検討委員会を設置し、英語教育を軸に教育課程等を検討しており、小学校1年生から中学校3年生までを見通したカリキュラムが実施できるようになります。

また、授業の進め方や家庭学習のやり方などを小学校と中学校の先生と一緒に考えたり、小学校と中学校で目指す子供像を共有し、9年間を見通した繋がりのある教育を行うことが可能となります。

一般質問



酒井 雅勝

一 公営住宅の家賃について

質 当市においては民間アパートがなく、一戸建ての住宅をお持ちでない方は大半の方が公営住宅に住んでいます。公営住宅等にお住いの方々のお子様などが成長し就職をされ、収入が増えると住宅の家賃が上がってしまいます。今の当市の状況は、残念ながら利便性に欠ける点が多く、家賃が上がるなら引越すという話をよく耳にします。当市において、このようなケースでの人口減は非常にもつたないと思います。公営住宅法上、家賃を下げることはできないのは承知しておりますが、定住を進める上で、何か良い施策を検討してはいないのでしょうか。

答 現行法規において、救済措置がないことから、独自の施策として、本年は、未舗装の駐車場使用料の廃止を行い、来年度に向け共用灯などにかかる電気使用料について全額公費負担を行うことを検討しております。

再質 未舗装の駐車場使用料の廃止や来年度に向けて共用灯の個人負担免除ということを考えているようですが、それだけでは家賃の増に見合うものではないと考えます。例えば、上がった家賃を市内の商品券等で還付するような施策は考えていないのでしょうか。

答 総体のバランスを見たときに逆転現象が生じる恐れがあり、今のところは検討していません。

再質 市内企業で働いている方で、市外から通勤している方がかなりいると思いますが、この人数について情報収集したことはあるでしょうか。

答 一番大きなところで下請けを含めて120人ほどと確認しています。

再質 その企業に市が助成して社宅を建ててもらい、そこへ入居してもらうことで人口増を図るというようなことを考えたことはないのでしょうか。

答 アパート経営について市内建築会社に話をしたことがあります。公営住宅に対抗できる家賃の設定が難しいと回答を受けた経緯があります。

行政常任委員会報告

委員長 女鹿 聡

▽10月31日

- 幼稚園の管理運営状況について（現地視察含む）
- 小学校の管理運営状況について（現地視察含む）
- 中学校の管理運営状況について（現地視察含む）
- 給食センターの管理運営状況について（現地視察含む）

▽11月28日

- 災害復旧工事の状況について（現地視察含む）
- 除排雪の計画について
- 職員の研修及び福利厚生状況について
- 職員の給与、定員管理の状況について
- 歌志内市の燃料等に関する価格調査の状況について
- 公共施設、公用車に係る燃料の購入状況について

決算審査特別委員会報告

委員長 本田 加津子

平成29年第3回定例会で決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査となっていた平成28年度決算に係る議案の審査結果について、12月12日の本会議で委員長より報告があり、いずれも全員一致で認定されました。

- 付託議案
- ▽議案第33号 平成28年度 歌志内市各会計歳入歳出決算の認定について
- ▽議案第34号 平成28年度 歌志内市病院事業会計決算の認定について

- 審査日程
- ▽11月14日（1日目）
 - ・市立病院・市民課・総務課・選挙管理委員会・企画財政課・議会事務局
- ▽11月15日（2日目）
 - ・消防本部・保健福祉課・建設課・産業課
- ▽11月16日（3日目）
 - ・会計室・監査委員事務局・教育委員会



行政常任委員会で幼稚園を視察

編集後記

昨年は11月から例年にならぬほどの大雪に見舞われ、皆様におかれましては、除排雪に大変だったと思います。体を休ませながらの除排雪を行っていただきたいと思います。

編集長 めが